

# 漢語「-な」型形容詞の伸張

## —日本語への同化—

永澤 濟

nagasawaitzuki@gmail.com

キーワード： 漢語 連体修飾 名詞 形容詞 形容動詞 近代 現代

### 要旨

近代日本語における漢語の連体修飾形3種（「-の」「-なる」「-な」型）の勢力分布の推移を調べた。漢語93語を調査対象に、「-の」「-なる」「-な」型のコーパス内出現数の年代推移を調べ、推移のパターンを5タイプに分けた。その結果、多数の語で、近代期に「-の」型と「-なる」型が衰退し、代わって「-な」型が大きく伸張したことが明らかになった。特に、1917-1925年の区間に「-な」型の増加率が飛躍的に高まったことがわかった。

注目されるのは、この1917-1925年という年代区間である。これは「-さ」型の漢語名詞用法の出現数が飛躍的に増加する時期と重なる。この時期、漢語は原初的な無標の名詞として用いられる段階を脱し、多くが和語の接辞「-な」や「-さ」のような品詞のマーカ―を具え、日本語への同化をより進めたものとみることができる。

### 1. 問題の所在

近代の漢語において多用され、現代に失われた「-の」型の連体修飾用法がある。

- (1) 官人導きて別殿に伴ひ留宿せしめ、更に盛大の饗應ありて、  
〔中村秋香「山田長政」(『太陽』) / 1895年〕
- (2) 本多氏に比すれば頭腦少々粗笨なりと雖も、其の意思強固にして、大膽の計畫を好むは、頗る東本願寺の石川舜台師に類すと曰ふ。  
〔「日本基督教界の人物」(『太陽』) / 1901年〕
- (3) 第一に目下各府縣に於て賣買する肥料を各地方より蒐集し、之を分析して其成分を發表し、以て農家の参考の資料を與へ、不正の肥料及取引の弊害なからしめんことを期し、  
〔上野英三郎「農業世界」(『太陽』) / 1901年〕
- (4) 之れ二百人に對し一人の不正者ある勘定にして頗る確實の計算と謂はざる可からず。  
〔祖山鍾三・佐野善作「商業世界」(『太陽』) / 1901年〕
- (5) 同氏は立派の着物を着けて居られ品格態度大學校長らしく立派に見受けました  
〔記者(文責)・鳩山春子(談)「文教と三越呉服店 家庭の教育が第一」(『太陽』) / 1909年〕

- (6) 況んや大楠公の如き偉大の人物の事業は、その輪廓の模稜な処に床しさが存するのである

〔桂堂生「大阪の東南（五十六）」（『大阪毎日新聞』）／1916年〕

- (7) 追々これ等の人々が重要の位置に据り、専門の知識ある眼で微細なる點にまで注意して監督を厳にしたならば、一層能率を高め、立派なる製品が出来るに相違ない。

〔記者（文責）・阪田貞一『工業上の戦後経営策』／1917年〕

- (8) 高山右近、小西行長の如きは、熱心の尊信者でありました

〔森大狂（記）・久保田米僊（談）「甲冑の話」（『太陽』）／1925年〕

- (9) 山中で露營するときは、木の枝にて小舎を組みたてこの蔭の葉を屋根に載すると忽ち完全の屋根が葺ける。

〔丸山晩霞「樺太の感想」（『太陽』）／1925年〕

近代には、次のような「-な」「-なる」「-たる」型のいずれかの連体修飾用法をもつ語の大半が、(1) — (9) のような「-の」型の連体修飾用法を併せもっていた。

- (10) 斯様な人は圓滿な偉大な人であるのだから、何處へ行つても如何なる人に使はれても必ず出世する事であらう。

〔磯村豊太郎『凡ての地位に適應する才能と力量』／1925年〕

- (11) 實用の人を作ることは、固より教育の第一義なるべけれども、實用一方の人にては、完全なる人物と云ふべからず、其品性は高尚ならざるべからず、其感情は優美ならざるべからず。

〔大町桂月「教育時評」（『太陽』）／1901年〕

- (12) 維新以降諸外國との交通頻繁と爲り彼我人民相互の理解を促したれども我邦人民の對外思想に未だ人道上完全なる光明を發輝するに至らず、往々外國人に對しては不正か不正たる價值なきものと看做すことあり。

〔志田鉦太郎「海外に輸出せる我國物品の粗製造に対する非難並に其の实例と之が救済策」（『太陽』）／1917年〕

漢語 700 語を対象にその割合を『太陽コーパス』を用いて調査したところ<sup>1</sup>、近代に「-な」「-なる」「-たる」型のいずれかの形容詞用法をもつ語が 268 語あり、そのうち、「-の」型の連体修飾用法を併せもっていた語は 253 語 (94.4%) にのぼる。

しかし、現代には、多くの漢語が「-の」型の連体修飾用法を失い、ほぼ同様の意味を「-な」型が担っている。近代から現代にかけて、連体修飾用法をめぐり、いかなる変化が起きたのだろうか。「-の」型、「-なる」型、「-な」型の出現数の年代推移を明らかにするため、次の調査を行った。

<sup>1</sup> 本稿は、近代から現代にかけての漢語の変化の数量的な調査の一部である。調査対象語 700 語の選定にあたり、国立国語研究所 (2004)『分類語彙表』を用いた。全 700 語のリスト及び選定方法は、永澤済 (2010b) を参照されたい。

## 2. 調査方法

上述の268語(下記リスト)の中から、『太陽コーパス』中の「-の」「-な」「-なる」型の合計出現数が70以上の全93語を抽出した(下記リストの下線)。

安価	案外	暗黒	安心	安全	意外	異常	依然	偉大	一定	異様	銳意
永遠	永久	円滑	円満	旺盛	臆病	温和	快活	確實	拡大	格別	俄然
過大	下等	可能	可憐	簡易	頑固	感心	間接	完全	乾燥	寛大	簡單
緩慢	肝要	奇怪	危険	貴重	急激	急速	狭隘	強硬	強大	共通	強力
巨額	虚偽	極端	巨大	僅少	謹慎	勤勉	緊要	偶然	苦痛	苦勞	激烈
結構	嚴格	元氣	現金	堅固	健康	堅実	現実	嚴重	嚴肅	嚴正	健全
顯著	嚴密	賢明	幸運	高価	高尚	公正	公然	広大	高等	幸福	公平
巧妙	姑息	滑稽	孤独	固有	困難	最近	最高	最上	最大	最良	残忍
残念	至極	自然	質素	失礼	邪魔	自由	重大	周到	十分	重要	縮小
熟練	主要	純粹	純然	詳細	正直	上手	上等	深刻	真実	尋常	神聖
親切	親善	迅速	慎重	心配	親密	随分	正確	精確	清潔	精巧	誠実
盛大	贅沢	正当	精密	絶大	全然	浅薄	善良	相当	聡明	大事	大切
大体	大胆	大變	多大	單純	断然	忠実	中立	調和	直接	著名	沈黙
痛快	痛切	丁寧	適宜	適切	適當	天然	当然	得意	特殊	特別	特有
独立	熱心	薄弱	漠然	莫大	發明	繁榮	反对	悲惨	微弱	非常	必然
必要	皮肉	秘密	平等	評判	美麗	貧弱	頻繁	貧乏	不安	風流	不快
複雑	不深	不幸	無事	不審	不振	不正	不足	普通	不当	不平	不便
不満	不明	不利	不良	無礼	平易	平氣	平然	平凡	平和	便宜	便利
冒險	豊富	本當	漫然	満足	未開	密接	無益	無限	無効	矛盾	無數
無能	無謀	無用	無理	明確	明白	名誉	明瞭	迷惑	面倒	猛烈	厄介
野蛮	有益	優越	有害	勇敢	有効	優秀	優勝	優劣	雄大	優美	有望
有名	有用	有利	有力	愉快	容易	幼稚	乱暴	利益	立派	隆盛	良好
冷静	冷淡	劣等	露骨								

下線を付した93語について、各々、「-の」「-な」「-なる」型の『太陽コーパス』における出現率(3形式の合計出現数に占める割合)の年代推移を調べた。調査対象とした年代は1895年、1901年、1909年、1917年、1925年である<sup>2</sup>。

## 3. 結果

稿末の【付図】に全調査結果を示した。各表左上の数字は、国立国語研究所(2004)『分類語彙表』索引掲載の全97,022語に筆者が付した通し番号(以下、『分類語彙表』内番号とする)を示す。93個のグラフを比較すると、「-の」型、「-なる」型、「-な」型の年代推移のパターンとして、次のタイプ1~5を認めることができる。

## ◆タイプ1

<sup>2</sup> 『太陽コーパス』所収の記事の年代に対応する。

まず、【付図】の中からタイプ1の例を挙げる。

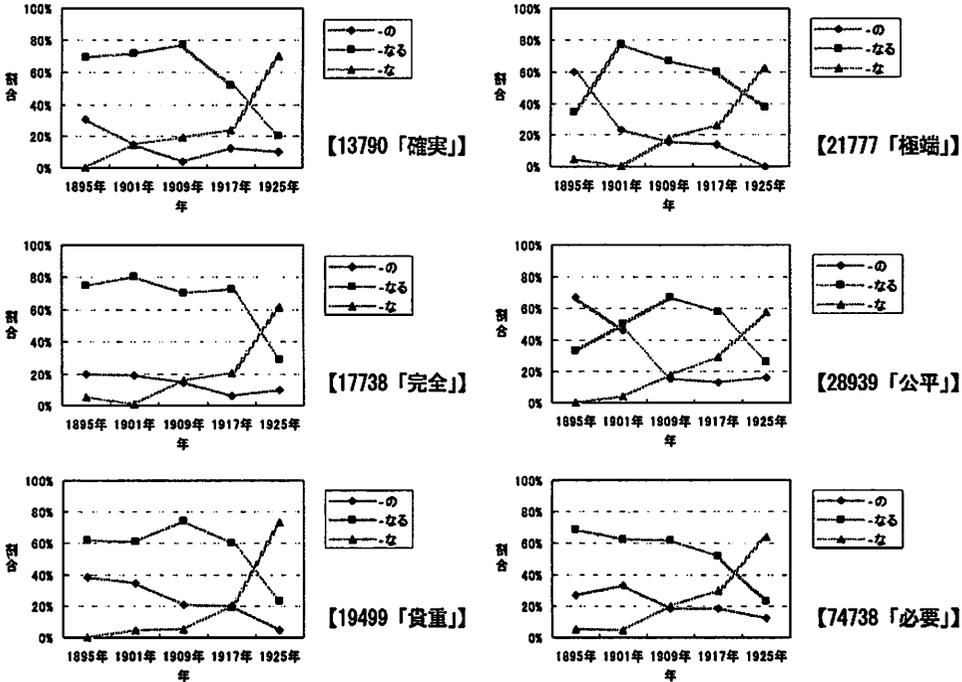


図1 『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移 [タイプ1]

いずれも、1895年の時点では、「-な」型の割合が0かそれに近く、それ以降、増加傾向を示す。特に、1917年から1925年にかけて増加率が非常に高い。増加の過程で、まず、「-の」型と割合が逆転し、続いて「-なる」型と逆転する。逆転の時期は語によって様々であるが、「-なる」型との逆転は、1917年から1925年にかけて、「-な」型の増加率が飛躍的に高まる時期に起きている場合が多い。

「-の」型と「-なる」型の関係についてみると、さらに2種類に分かれる。一方は、上掲「確実」「完全」「貴重」「必要」のグラフにみられるように、1895年の時点で「-の」型より「-なる」型の割合の方が高く、そのまま、両者の間で逆転が起こらない（グラフが交わらない）パターンである。また一方は、上掲「極端」「公平」のグラフにみられるように、1895年の時点で「-の」型の方が「-なる」型の割合より高く、その後、両者の割合が逆転する（グラフが交わる）パターンである。ただ、そうした途中の推移を捨象すれば、両パターンとも、1895年から1925年にかけて、「-の」型と「-なる」型がともに減少傾向にあることは共通している。

以上のパターンを示すのが、上掲「確実」「完全」「貴重」「極端」「公平」「必要」を含め、次の語である（括弧内数字は、【付図】に付した『分類語彙表』内番号を示す）。

確実 (13790)	完全 (17738)	奇怪 (18474)	貴重 (19499)	極端 (21777)
激烈 (25561)	顕著 (27016)	高尚 (28206)	広大 (28503)	公平 (28939)
巧妙 (29002)	困難 (31908)	重大 (39046)	重要 (39320)	善良 (49344)
単純 (54787)	熱心 (68186)	必要 (74738)	複雑 (77173)	便利 (81075)
豊富 (81892)	有効 (90751)	優秀 (90804)	有利 (91059)	有力 (91075)
幼稚 (91894)				

この他、上の典型的なパターンと完全には一致しないが、近似のパターンを示す、次の〈1〉—〈4〉の語がある。

〈1〉 「-な」型と「-の」型の割合の逆転、及び「-な」型と「-なる」型の割合の逆転が、ともに同一の年代区間（たとえば「1917 - 1925年」）に起きているため、どちらが早く起こったかを厳密には特定できない。しかし、その他の点は、上と同一のパターンを示す語。

意外 (3377)	円満 (8910)	簡単 (17809)	巨大 (21920)	高価 (27569)
正当 (46977)	著名 (57226)	適当 (59760)	莫大 (70415)	非常 (74244)
満足 (85026)	密接 (85911)	明白 (87645)	愉快 (91110)	良好 (94381)

〈2〉 「-な」型と「-なる」型の割合の逆転が、「-な」型と「-の」型の割合の逆転より先に起きている点（のみ）が、上のパターンと異なる語。

容易 (91639)

〈3〉 1917年から1925年にかけての「-な」型の増加率が他の年代区間と比べて特に高くはない（場合によってはマイナスである）が、1917年以前に、飛躍的に増加している区間があり、平均すると増加傾向にある。その他の点は、上と同一のパターンを示す語。

危険 (18870)	大切 (52178)	不幸 (77456)	平凡 (80162)	有益 (90621)
有名 (91015)				

〈4〉 グラフの形状は、以上に示したいずれかのパターンに近似するが、「-な」型と「-の」型の割合の逆転、または「-な」型と「-なる」型の割合の逆転の、どちらか一方が、1925年の時点では起きていない。しかし、グラフの傾きから考えると、事実上は、その前後に逆転が起きたと推定される語。

偉大 (4149)	強大 (21423)	健全 (26888)	主要 (40252)	純粹 (40486)
-----------	------------	------------	------------	------------

特殊 (63038) 平和 (80200) 無益 (86632)

以上、(1) — (4) を含め、全て [タイプ1] とする。共通するのは、1895 - 1925 年の期間に、「- な」型の割合が増加し、一方で「- の」型、「- なる」型の割合が減少することである。かつ、多くの語において、1917 - 1925 年の区間に「- な」型の増加率が特に高まる。その結果、(4) を除く全ての語で、1925 年時点の「- な」型の割合が、3 用法中最も高くなっている。

以上の変化が複数の語に並行して起こっており、そのことは、この時期に、「- の」型の連体修飾用法、および「- なる」型の形容詞用法が衰退し、「- な」型の形容詞用法が伸張したことを示す。

◆タイプ2

同じく【付図】から、タイプ2の例を挙げる。

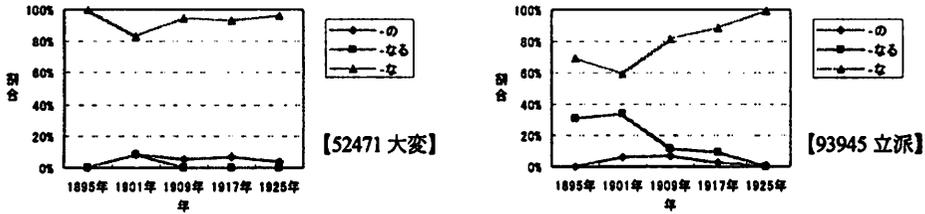


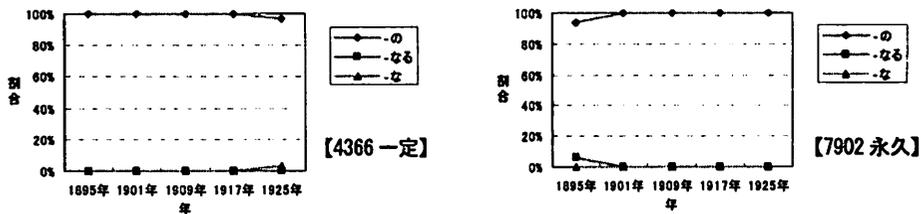
図2 『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移 [タイプ2]

1895 年の時点から、「- な」型の割合が高く、そのまま、「- の」型、「- な」型との割合の逆転もなく、1925 年に至るパターンである。

このパターンを示す語は、調査範囲中では上の2語だけである。タイプ1に比して、一般的なパターンではない。タイプ1にみられるように多くの語が1895 - 1925 年の期間に「- な」型の出現率を急激に高める中で、当初から「- な」型の割合が高い、タイプ2の語が少数ながら存在することは注目される。

◆タイプ3

同じく【付図】から、タイプ3の例を挙げる。



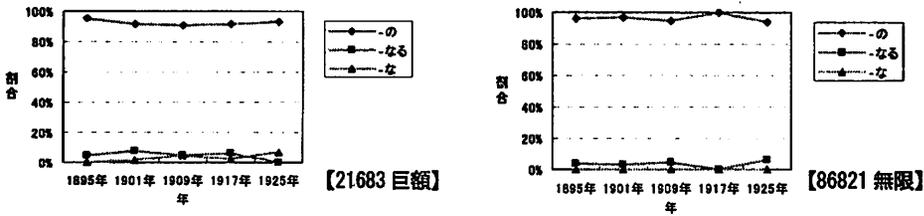


図3 『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移 [タイプ3]

共通するのは、1895年から1925年に至るまで、圧倒的に「-の」型の割合が高く、「-なる」型と「-な」型の割合は、多少の変動はみられるものの、0かそれに非常に近い値を維持することである。すなわち、これらの語においては、「-の」型の連体修飾用法が圧倒的優勢であり、「-なる」型および「-な」型の形容詞用法は、用例はみられるが、一般性は非常に低かったものと考えられる。

このパターンを示すのは、上掲「一定」「永久」「巨額」「無限」を含め、次の語である。これらの語においては、上のパターンが、現代まで維持されているとみられる。

一定 (4366)	永遠 (7884)	永久 (7902)	巨額 (21683)	現実 (26693)
最近 (32186)	大体 (52215)	直接 (57059)	天然 (61244)	得意 (62946)
独立 (63268)	反対 (73085)	必然 (74632)	普通 (77962)	本当 (83438)
無限 (86821)	無数 (87026)			

◆タイプ4

同じく【付図】から、タイプ4の例を挙げる。

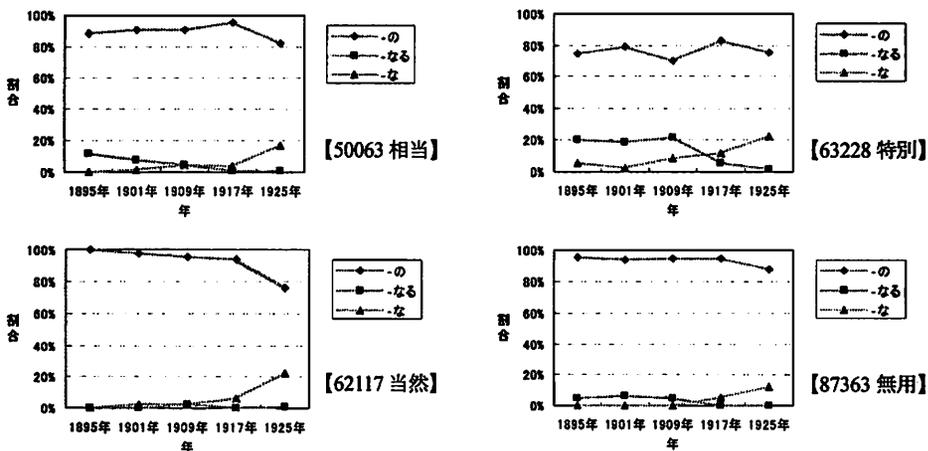


図4 『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移 [タイプ4]

タイプ3と近似のパターンを示すものの、わずかながら「-な」型が増加傾向を示す。多くは、タイプ1の場合と同様、1917 - 1925年の区間で特に増加率が高まる。

このパターンを示すのは、上掲「相当」「当然」「特別」「無用」を含め、次の語である。

偶然 (23066)    固有 (31404)    自然 (36209)    相当 (50063)    多大 (53333)  
 当然 (62117)    特殊 (63038)    特別 (63228)    無用 (87363)

このうち、「偶然」「当然」以外の語は、現代にも、「-の」型に加え、「-な」型の用法をもつ。近代のこの時期に増加しつつあった（おそらくその時点では未だ完全には定着していなかった）用法が、最終的に一般に定着したものとみることができる。

◆タイプ5

同じく【付図】から、タイプ5の例を挙げよう。

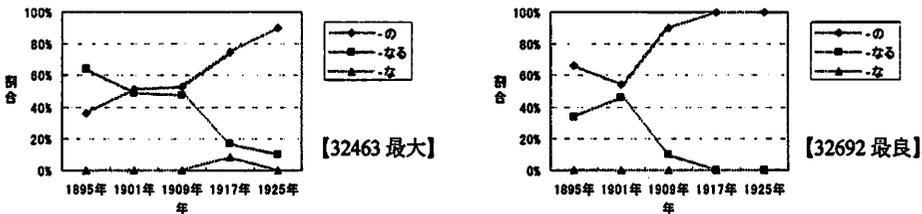


図5 『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移 [タイプ5]

当初、「-の」型と「-なる」型の割合の差は大きくない。次第に「-の」型の割合が大きく増加し、反対に「-なる」型の割合が大きく減少した。その結果、1925年時点では両者の差が大きく開き、「-の」型が圧倒的優勢、「-なる」型の割合は0かそれに近くなっている。「-な」型は、全くあるいはほとんど変動せず、0かそれに近い割合を維持する。

このパターンを示す語は、調査範囲中では上の2語だけである。一般的なパターンとはいえないが、ともに「最-」という構成の語が、他と異なるパターンを共通して示す点は注目される。

◆その他

以上1~5のタイプに収まらない、次の7語についてふれておく。

緊要 (22862)    固有 (31404)    自由 (38559)    純然 (40510)    真実 (43582)  
 71例    79例    147例    3例    72例  
 適切 (59730)    不正 (77724)  
 93例    74例

付図にみえるように、これらの語が示すパターンは個別性が強く、タイプ分けはできない。一般に、各語がそれぞれ独自のパターンで年代推移することはごく自然で、そのことに説明は要しない。ただし、この場合は、分析対象となる用例数（『太陽コーパス』における「-の」型、「-なる」型、「-な」型の出現数合計）が、上記のように、「自由」（147例）と「適切」（93例）を除き、いずれも80例未満と、他の語と比べて少なく<sup>3</sup>、そのことが「異常値」の影響を受けやすくした可能性がある。よって、適切に用例数を増やして同様の調査を行った場合、上のタイプ1~5のいずれかのパターンを示す可能性がある。

#### 4. 考察

##### 4. 1 現代における終着点

以上、近代における連体修飾用法「-の」型、「-なる」型、「-な」型の年代推移をタイプ1~5に分けてみてきた。以上の語は、現代には次の3種に終着している。

1. 「-の」型のみをとる語： タイプ3の語の多くが、現代に「-の」型のみをとる。「-の」型の割合が圧倒的に高いまま3用法の割合がほとんど変化しないパターンが、現代まで維持されたものといえる。タイプ4の一部にも、1917-1925年の区間にわずかに増加傾向を示した「-な」型を失い、現代には「-の」型のみをとるようになっていく語がある（「偶然」「当然」）。また、タイプ5の「最高」と「最良」も、一時は約半数の割合を占めた「-なる」型を失い、現代には「-の」型のみをとる。

次の語がこれにあたる。

[タイプ3] 永遠 (7884) 永久 (7902) 現実 (26693) 最近 (32186) 大体 (52215)  
 直接 (57059) 天然 (61244) 必然 (74632) 普通 (77962) 本当 (83438)  
 無限 (86821) 無数 (87026)

[タイプ4] 偶然 (23066) 当然 (62117)

[タイプ5] 最大 (32463) 最良 (32692)

2. 「-な」型のみをとる語： タイプ1の語の多数、及びタイプ2が、現代に「-な」型のみをとる。近代に減少傾向を示していた「-の」型と「-なる」型の用法を完全に失い、反対に増加傾向にあった「-な」型が現代に残ったものといえる。

次の語がこれにあたる。

[タイプ1] 意外 (3377) 偉大 (4149) 円満 (8910) 確實 (13790) 完全 (17738)  
 簡単 (17809) 奇怪 (18474) 危険 (18870) 貴重 (19499) 強大 (21423)  
 極端 (21777) 巨大 (21920) 激烈 (25561) 健全 (26888) 顕著 (27016)  
 高価 (27569) 高尚 (28206) 広大 (28503) 公平 (28939) 巧妙 (29002)  
 困難 (31908) 重大 (39046) 重要 (39320) 主要 (40252) 純粹 (40486)  
 善良 (49344) 大切 (52178) 単純 (54787) 著名 (57226) 適當 (59760)

<sup>3</sup> 調査対象語選定の基準を、『太陽コーパス』中の「-の」「-な」「-なる」型の合計出現数が70以上の語としたため、「-たる」型形容詞の用例を多くもつ「純然」は、特に用例数が少ない。

特殊 (63038) 熱心 (68186) 莫大 (70415) 必要 (74738) 複雑 (77173)  
不幸 (77456) 平凡 (80162) 平和 (80200) 便利 (81075) 豊富 (81892)  
密接 (85911) 無益 (86632) 明白 (87645) 有益 (90621) 有効 (90751)  
優秀 (90804) 有名 (91015) 有利 (91059) 有力 (91075) 愉快 (91110)  
容易 (91639) 幼稚 (91894) 良好 (94381)

【タイプ2】 大変 (52471) 立派 (93945)

3. 「-の」型と「-な」型両方をとる語： タイプ4の語の多くが、現代に、「-の」型と「-な」型の両方をとる。また、タイプ1及びタイプ3の中にも、同様の語がある。  
次の語がこれにあたる。

【タイプ1】 正当 (46977) 非常 (74244) 満足 (85026)

【タイプ3】 一定 (4366) 巨額 (21683) 得意 (62946) 独立 (63268) 反対 (73085)

【タイプ4】 固有 (31404) 自然 (36209) 相当 (50063) 多大 (53333) 特殊 (63038)  
特別 (63228) 無用 (87363)

以上からわかるように、現代にみられる「-の」型の用法は、近代から維持されているもので、この部分に特に変化は認められない。

一方、近代から現代にかけて顕著な変化があったのが「-な」型である。上にみたように、多くの語において、「-の」型及び「-なる」型が衰退し、代わって「-な」型が大きく伸張し、定着した。特に、1917 - 1925年の区間に「-な」型の増加率が飛躍的に高まる語が多い（タイプ1及びタイプ4）。すなわち漢語形容詞「-な」型の勢力は、近代以降に急激に高まったといえ、その端緒が1917 - 1925年の区間であったとみることができる。

#### 4. 2 「-な」型伸張の意味

ここで、「-の」型と「-なる」型が衰退し、代わって「-な」型が大きく伸張したこの意味について考えてみたい。

まず、「-の」型連体修飾用法は、〈名詞+助詞「の」〉の形式をとり、「の」に前接する部分は完全な「名詞」とみることができる。

また「-なる」型形容詞用法も、これに前接する部分は「名詞」の性格を保持しているとみられる。「-なる」型形容詞用法は、形式上、次のような〈名詞+助動詞「なる」〉の形式と区別することが難しい。

- (13) 現に私の往きました五日ばかり前にも、ダナンチオが友人なる大尉と並んで戦線に立つて居りました時に、敵弾は来つて友人の大尉に命中し、即刻戦死を遂げたのでありますが、ダナンチオは其の死骸を背負ふて、辛うじて伊太利の陣地に歸つたのである。

〔記者（文責）・大河内正敏「欧大陸巡遊中の所感」(『太陽』) / 1917年〕

「なる」は、前接する部分が「友人」のような完全な名詞であろうとも、「広大」のように、

現代からみると形容詞（の一部）とみなせる要素であろうとも、両者の区別は不問に付され、ともに「-なる」を後接させることができた<sup>4</sup>。

一方「-な」型は、少なくとも近現代には、形容詞という一つの品詞カテゴリーを体現する形式であり、名詞とは明確に区別される<sup>5</sup>。「-な」型は、形容詞に特化した接辞「-な」を伴い、完全に形容詞になりきった形式だといえることができる。

近代から現代にかけて、名詞の性質を有する「-の」型及び「-なる」型が衰退し、それと関連するように「-な」型形容詞用法が伸張した。このことは、漢語が原初的な名詞として、「-の」や「-なる」と緩い結合をしていた段階を脱し、形容詞に特化した接辞「-な」を伴う完全な形容詞形として、日本語への同化の度合いをより高めたものとみることができる。

#### 4. 3 1917 - 1925 年という年代区間

ここで注目したいのは、「-な」型の増加率が飛躍的に高まった 1917 - 1925 年という年代区間である。この年代区間は、漢語の「-さ」型名詞用法の出現数が『太陽コーパス』において飛躍的に増加した時期と重なる（永澤 2010a: 147-161, 2011: 154-156）。

<sup>4</sup> そのような、「-なる」型のもつ、名詞と形容詞の区別を不問に付す性質が、「-な」型を取れない語にも、「-なる」型を取ることを許容しやすくしていたと考えられる。次のように、現代に「-な」型形容詞用法をもたない語が、近代に「-なる」型の用例をもつ場合がある（『太陽コーパス』にもこれらの語の「-な」型の用例はみられない）。

(1) 北海とバルチック海とを聯結する運河の創開に着手したるは既に三世紀以前の事なるか、其後尚三條の運河を完成するに至れり、其最近なるものは獨乙人が北東海運河と呼ぶものにして、近世の商船に向ひては最良の資格を有するものたり、

〔海外彙報（『太陽』）／1895 年〕

(2) 人の生涯は徹頭徹尾快を増し快を減ずる工夫にして、或は富貴により或は教育により或は社會組織により或は天然に依頼して其目的を遂げんことを務むるものなりと雖も、天然なるものは元と是れ有情なるものに非ず。従て人の禍福に感應するものに非ず、其活動法たるや全軀より之を論するときは人類の利害に無頓着なるものなりとす。

〔元良勇次郎「人生觀に就て」（『太陽』）／1895 年〕

(3) 蝶の腹部の鱗を拂ひ落して其側面を見るに各環節に縦走する線あるを見るべし、之れ其薄膜のある處にして此膜は腹が縮小なる時はをなして内に曲り込み外面より之れを見れば一線の如く見はるゝものなり、

〔石川千代松「蝶の話」（『太陽』）／1895 年〕

(4) 或は自守及自遂と曰ひ、或は眞の思考に於ける理性的自己の自由と曰ひ、或は諸力の調和なる發達および使用と曰ひ、或は完全と曰ひ、皆是等諸家の理會の形式なり。

〔湯本武比古「フリードリッヒ、パウルゼンの倫理学」（『太陽』）／1895 年〕

(5) 獨國ベルリン大學在留中、君の精密なる探究と銳意なる勤學は遂に獨國に於ける醫學社會に尤も名譽とせらるゝ一の發明を産ましめたり、

〔「科学」（『太陽』）／1895 年〕

(6) 日本の老政治家は日本國を難儀の中より引出して今日あらしめたる大功ある人なれば其謹慎なる外交政略は固より感謝すべきものあり。されど謹慎にも程度あり。時としては思切りたる手段もなくはかなぬことなり。

〔山路愛山「伊藤公と韓国經營」（『太陽』）／1909 年〕

<sup>5</sup> 歴史的には、「-な」は、「なり」の連体形「なる」の語尾が脱落したもので、中世から近世にかけて、終止法と連体法に用いられたとされる。次のような例がある。「機嫌がわるければ、そばな者にむけても、はらをたつるか」（『史記抄』／1477 年）（語誌・例とも『日国』「な（断定の助動詞「なり」「だ」の活用形）」の項による）。また、『日国』に、近代の例として「明日定期檢閲な所が今度は室内の整頓なんです」（有島武郎『或る女』／1919 年）も挙げられるが、管見の限り同様の例は本稿のコーパス調査ではみつからず、特殊な用法とみてよいだろう。現代にも「明日試験なせいで遊べない」「明日試験なものだから遊べない」「明日が日曜日なことを嘆いた」のように、形式名詞に前接する場合に、形容詞ではない特殊な「-な」形が現れることがあり、上の近代の例もそれに類するものか。

近代には(14) — (16)のような、接辞を伴わない漢語の名詞用法が多用されたが、次第に衰退し、一方で、(17) — (19)のような、名詞化接辞「-さ」を伴う名詞用法が増加した。

- (14) 委員が眞に時局の重大を理解する限り外交調査會は決して徒爾に終わるべきでない。  
〔浅田江村「時局の印象」(『太陽』) / 1917年〕
- (15) 苟くも自己の主張に關し又た他人の名譽に關することを記するに當りては先づ其の記事の確實を保證するに足る事實を擧げなければならぬ。  
〔浮田和民『早稲田大学紛擾の真相及其の根本問題』(『太陽』) / 1917年〕
- (16) 民族の偉大は此の如き場合に現はれる  
〔内田魯庵「學術的汎亜細亞主義」(『太陽』) / 1917年〕
- (17) 次に食糧の問題であるが、これは益々その重大さを増しつつある。  
〔井上準之助「食糧問題より見たる朝鮮米と北海道米」(『太陽』) / 1925年〕
- (18) ただそれは低損失といふ點からのみ述べたことで、調整の不變、又は接觸の確實さ、或ひ( )は制御の圓滑さ等の點に就ては、コンデンサー購入の際に、損失率と同様、是非心得てゐなければならぬのである。  
〔近藤生「ラヂオ漫談」(『太陽』) / 1925年〕
- (19) さて此南大門の兩側に嚴然として直立勇躍せるは、運慶湛慶作と稱する仁王である。其高さ二丈六尺五寸、以て其偉大さを知るべきである。  
〔鈴木禎二「旧都の春を訪ねて」(『太陽』) / 1917年〕

『太陽コーパス』を資料として行つた調査によると、漢語「-さ」型名詞の出現数は、1917 - 1925年の年代区間に急激な増加がみられる(永澤 2010a: 147-161, 2011: 154-156)<sup>6</sup>。

表1 『太陽コーパス』における漢語「-さ」型名詞の年代別出現数(単位: 語)

年	出現数 ([ ] 内は異なり語数)
1895年	12 [ 9 ]
1901年	10 [ 10 ]
1909年	10 [ 9 ]
1917年	23 [ 20 ]
1925年	92 [ 70 ]
計	147 [ 104 ]

表2 『太陽コーパス』において漢語「-さ」型名詞を用いた筆者数(単位: 人)

年	筆者数
1895年	9
1901年	8
1909年	7
1917年	14
1925年	52
計	90

<sup>6</sup> 調査方法は次の通りである。

- (1) 国立国語研究所作成の全文検索システム『ひまわり』を利用し、『太陽コーパス』内の「さ」という文字を全て抽出した(『ひまわり』による検索結果は、KWIC形式で表示され、検索対象文字列の前後の文字列によりソートが可能である)。
- (2) そこから、「漢語+ -さ」形の名詞用法を全て抽出した。ここでいう「漢語」とは二字漢語に限る。また、和訓のルビが付されているもの(「可憐 [いと] さ」「困難 [むづかし] さ」等)は除いた。
- (3) 以上により抽出された全用例を、1895年、1901年、1909年、1917年、1925年、の各年別に整理し、用例数を数えた。

表1にみられるように、1895 - 1909年の各年代は、漢語「-さ」型名詞の出現数が10~12語で、ほぼ一定している。8年後の1917年に、出現数は約2倍に増え、23語となる。さらに8年後の1925年には、その4倍に増え、92語となっている。

さらに、表2にみられるように、漢語「-さ」型名詞を用いる(異なり)筆者数も、出現数の推移とほぼ並行している。

以上のデータから、漢語「-さ」形名詞の出現頻度が、1910年代頃から増え始め、1917 - 1925年の区間に飛躍的に高まった(コーパス出現数で約4倍)ことがわかる。

この1917 - 1925年という年代区間に、漢語の「-な」型形容詞用法と「-さ」型名詞用法とが揃って勢力を伸ばしたことは、この時期が、漢語における一つの転換点であることを意味すると考えられる。この時期、漢語は、品詞を明示する形式を伴わない原初的な名詞として日本語に取り込まれた段階を脱し、形容詞に特化した和語接辞「-な」、名詞に特化した和語接辞「-さ」といったマーカーを備え、日本語の形容詞あるいは名詞として定着したとみることができる。

そうした現象は、一般に借用語の迎る変化と類似する。異なるのは、それらが初めて日本に入っただけでなく、言語接触の初期段階に起こったのではなく、日本で長い時を経た後、近代になってからの短期間に変化が起きたという点である。近代に至ってもなお、漢語は、日本語とは混じりきらない、「異質」性を保持していたと考えられる。

## 5. 結論

以上、近代日本語における漢語の連体修飾形3種(「-の」「-なる」「-な」型)の勢力分布の推移を調べた。調査対象全93語の推移パターンは、タイプ1~5の5種に分けられ、多くの語が、「-の」型及び「-なる」型を失い、代わって「-な」型を大きく伸張させたことが明らかになった。特に、約7割の語(タイプ1およびタイプ4に分類される計65語)において、1917 - 1925年の区間に飛躍的に「-な」型の増加率が高まることがわかった。すなわち漢語形容詞「-な」型の勢力は、近代以降に急激に高まったといえ、その端緒が1917 - 1925年の区間であったとみることができる。

この1917 - 1925年という年代区間は、「-さ」型の漢語名詞用法の出現数が飛躍的に増加する時期と重なる。この時期、漢語は原初的な無標の名詞として用いられる段階を脱し、多くが和語の接辞「-な」や「-さ」のような品詞のマーカーを具え、日本語への同化をより進めたものとみることができる。

このように、近代から現代にかけて、名詞の性質を有する「-の」型及び「-なる」型が衰退し、それと相関するように「-な」型形容詞用法が伸張したことは、漢語が原初的な名詞として、「-の」や「-なる」と緩い結合をしていた段階を脱し、形容詞に特化した接辞「-な」を伴う完全な形容詞形として、日本語への同化の度合いをより高めたことの表れとみることができる。

永澤 濟

#### 参考文献

国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』, 国立国語研究所資料集 14. 東京: 大日本図書.

永澤濟 (2010a) 「近現代期日本語における漢語の変化」 博士学位論文. 東京大学.

永澤濟 (2010b) 「変化パターンからみる近現代漢語の品詞用法」 『東京大学言語学論集』 30: 115-168.

永澤濟 (2011) 「文法的機能からみた漢語」 『国文学解釈と鑑賞』 76(1): 153-162.

#### 電子化資料

神戸大学付属図書館 『デジタル版新聞記事文庫』 . (<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>) .

国立国語研究所 (編) 『太陽コーパス』 東京: 博文館新社

## Changes in Sino-Japanese Adnominal Forms from the Early Modern Period to the Present: Assimilation into Japanese

NAGASAWA Itsuki

nagasawaitzuki@gmail.com

**Keywords:** Japanese, Sino-Japanese, adnominal forms, noun, adjective, adjective-forming suffix, noun-forming suffix, Early Modern Period, Present

#### Abstract

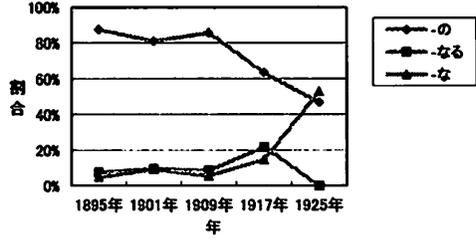
Sino-Japanese has greatly changed from the Early Modern Period to the Present. This paper deals with chronological changes in frequencies of Sino-Japanese adnominal forms *-no*, *-naru*, and *-na* in that period of time. The changes are divided into five types by examining 93 Sino-Japanese words. The results show that in many of the words the frequencies of *-no* and *-naru* decreased and that of *-na* increased significantly in the years between 1917 and 1925. In that period of time, the frequency of nouns with the Japanese noun-forming suffix *-sa* saw a similar large increase, whereas that of zero-suffix nouns decreased. This means that Sino-Japanese words which were at first taken into Japanese as nouns with no markers of word class have today settled as fixed adjectives or nouns with a Japanese suffix. This phenomenon can be called "assimilation into Japanese."

(ながさわ・いつき 東京大学助教)

【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

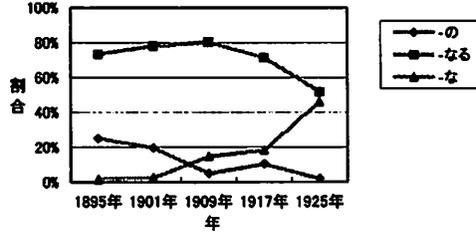
3377 意外

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	35	88%	3	8%	2	5%	40	100%
1901年	43	81%	5	9%	5	9%	53	100%
1909年	30	86%	3	9%	2	6%	35	100%
1917年	26	63%	9	22%	6	15%	41	100%
1925年	15	47%	0	0%	17	53%	32	100%



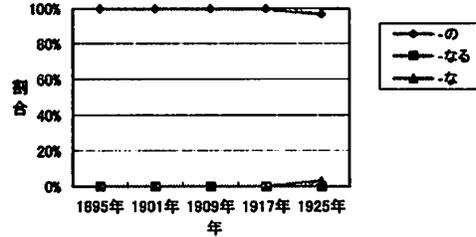
4149 偉大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	15	25%	44	73%	1	2%	60	100%
1901年	8	20%	32	78%	1	2%	41	100%
1909年	3	5%	49	80%	9	15%	61	100%
1917年	5	10%	35	71%	9	18%	49	100%
1925年	1	2%	27	52%	24	46%	52	100%



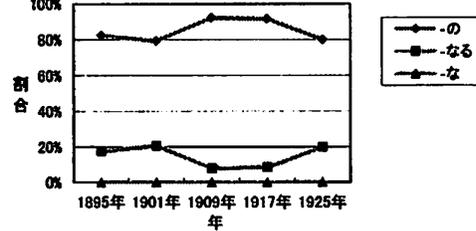
4366 一定

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	86	100%	0	0%	0	0%	86	100%
1901年	143	100%	0	0%	0	0%	143	100%
1909年	80	100%	0	0%	0	0%	80	100%
1917年	73	100%	0	0%	0	0%	73	100%
1925年	63	97%	0	0%	2	3%	65	100%



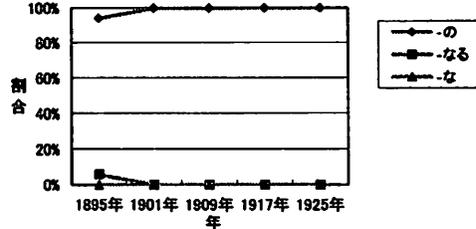
7884 永遠

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	14	82%	3	18%	0	0%	17	100%
1901年	23	79%	6	21%	0	0%	29	100%
1909年	12	92%	1	8%	0	0%	13	100%
1917年	11	92%	1	8%	0	0%	12	100%
1925年	4	80%	1	20%	0	0%	5	100%



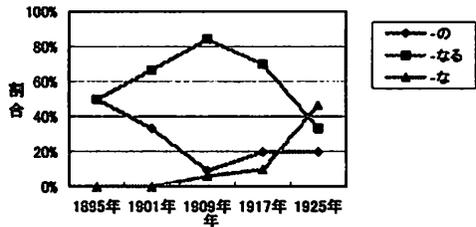
7902 永久

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	16	94%	1	6%	0	0%	17	100%
1901年	20	100%	0	0%	0	0%	20	100%
1909年	14	100%	0	0%	0	0%	14	100%
1917年	18	100%	0	0%	0	0%	18	100%
1925年	3	100%	0	0%	0	0%	3	100%



8910 円満

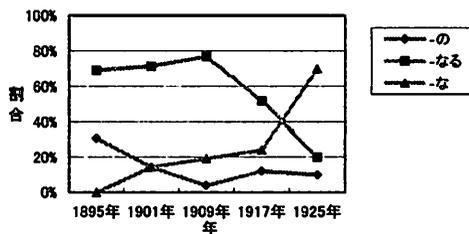
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	8	50%	8	50%	0	0%	16	100%
1901年	7	33%	14	67%	0	0%	21	100%
1909年	3	9%	27	84%	2	6%	32	100%
1917年	2	20%	7	70%	1	10%	10	100%
1925年	3	20%	5	33%	7	47%	15	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

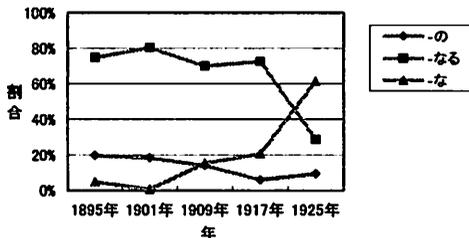
13790 确实

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	4	31%	9	69%	0	0%	13	100%
1901年	7	14%	35	71%	7	14%	49	100%
1909年	1	4%	20	77%	5	19%	26	100%
1917年	3	12%	13	52%	6	24%	25	100%
1925年	1	10%	2	20%	7	70%	10	100%



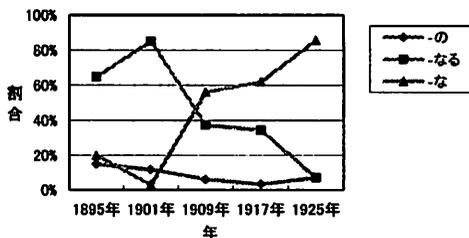
17738 完全

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	16	20%	60	75%	4	5%	80	100%
1901年	21	19%	91	81%	1	1%	113	100%
1909年	9	14%	45	70%	10	16%	64	100%
1917年	3	6%	35	73%	10	21%	48	100%
1925年	5	10%	15	29%	32	62%	52	100%



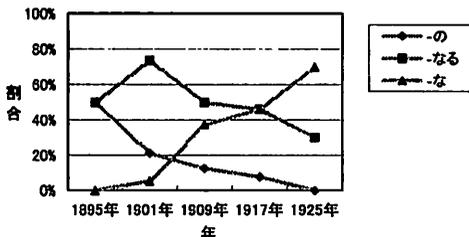
17809 简单

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	3	15%	13	65%	4	20%	20	100%
1901年	4	12%	29	85%	1	3%	34	100%
1909年	1	6%	6	38%	9	56%	16	100%
1917年	1	3%	10	34%	18	62%	29	100%
1925年	3	7%	3	7%	36	86%	42	100%



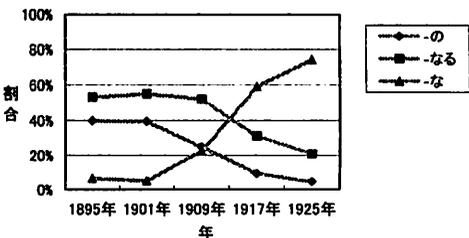
18474 奇怪

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	5	50%	5	50%	0	0%	10	100%
1901年	4	21%	14	74%	1	5%	19	100%
1909年	2	13%	8	50%	6	38%	16	100%
1917年	1	8%	6	46%	6	46%	13	100%
1925年	0	0%	6	30%	14	70%	20	100%



18870 危険

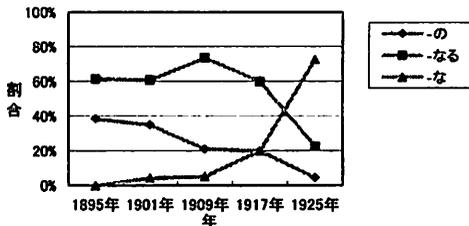
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	40%	8	53%	1	7%	15	100%
1901年	15	39%	21	55%	2	5%	38	100%
1909年	11	25%	23	52%	10	23%	44	100%
1917年	3	9%	10	31%	19	59%	32	100%
1925年	2	5%	9	21%	32	74%	43	100%



※この他、「危険たる」が1例あり(1895年)。

19499 貴重

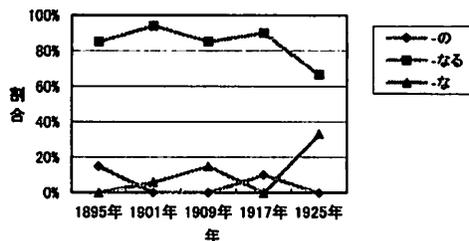
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	10	38%	16	62%	0	0%	26	100%
1901年	8	35%	14	61%	1	4%	23	100%
1909年	4	21%	14	74%	1	5%	19	100%
1917年	6	20%	18	60%	6	20%	30	100%
1925年	1	5%	5	23%	16	73%	22	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

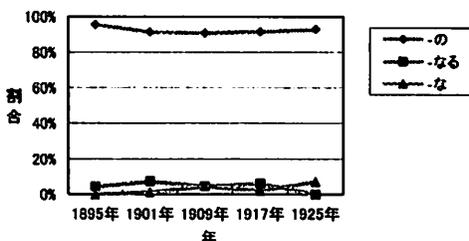
21423 強大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	4	15%	23	85%	0	0%	27	100%
1901年	0	0%	16	94%	1	6%	17	100%
1909年	0	0%	23	85%	4	15%	27	100%
1917年	2	10%	18	90%	0	0%	20	100%
1925年	0	0%	2	67%	1	33%	3	100%



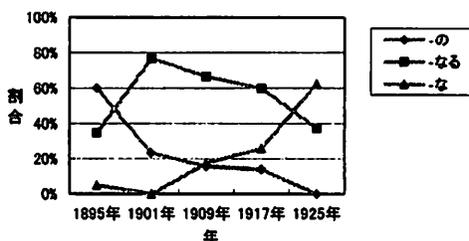
21683 巨額

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	43	96%	2	4%	0	0%	45	100%
1901年	74	91%	6	7%	1	1%	81	100%
1909年	20	91%	1	5%	1	5%	22	100%
1917年	44	92%	3	6%	1	2%	48	100%
1925年	13	93%	0	0%	1	7%	14	100%



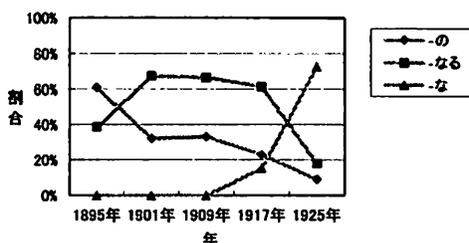
21777 極端

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	60%	7	35%	1	5%	20	100%
1901年	10	23%	33	77%	0	0%	43	100%
1909年	8	16%	34	67%	9	18%	51	100%
1917年	7	14%	30	60%	13	26%	50	100%
1925年	0	0%	9	38%	15	63%	24	100%



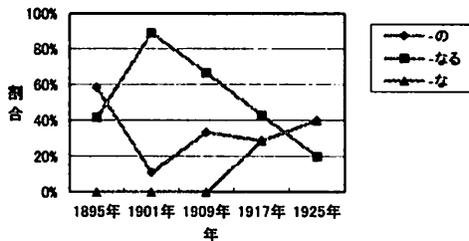
21920 巨大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	11	61%	7	39%	0	0%	18	100%
1901年	11	32%	23	68%	0	0%	34	100%
1909年	2	33%	4	67%	0	0%	6	100%
1917年	3	23%	8	62%	2	15%	13	100%
1925年	2	9%	4	18%	16	73%	22	100%



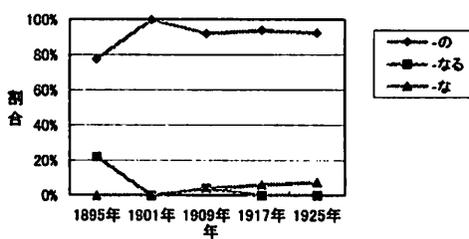
22862 緊要

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	7	58%	5	42%	0	0%	12	100%
1901年	5	11%	40	89%	0	0%	45	100%
1909年	1	33%	2	67%	0	0%	3	100%
1917年	2	29%	3	43%	2	29%	7	100%
1925年	2	40%	1	20%	2	40%	5	100%



23066 偶然

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	7	78%	2	22%	0	0%	9	100%
1901年	24	100%	0	0%	0	0%	24	100%
1909年	23	92%	1	4%	1	4%	25	100%
1917年	30	94%	0	0%	2	6%	32	100%
1925年	12	92%	0	0%	1	8%	13	100%

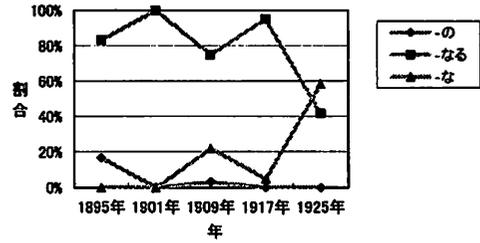


【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

25561 激烈

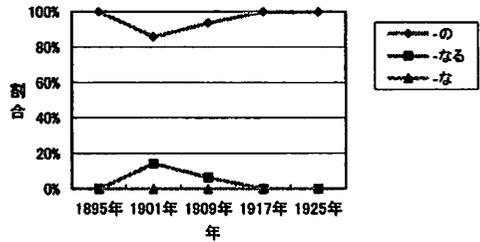
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	17%	10	83%	0	0%	12	100%
1901年	0	0%	24	100%	0	0%	24	100%
1909年	1	3%	24	75%	7	22%	32	100%
1917年	0	0%	20	95%	1	5%	21	100%
1925年	0	0%	5	42%	7	58%	12	100%

※この他、「激烈たる」が1例あり(1909年)。



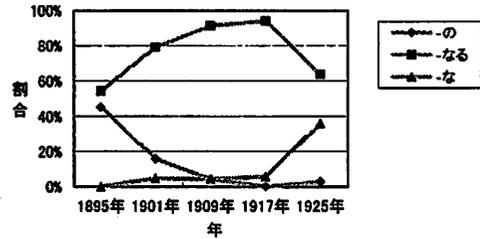
26693 現実

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	7	100%	0	0%	0	0%	7	100%
1901年	6	86%	1	14%	0	0%	7	100%
1909年	44	94%	3	6%	0	0%	47	100%
1917年	17	100%	0	0%	0	0%	17	100%
1925年	14	100%	0	0%	0	0%	14	100%



26888 健全

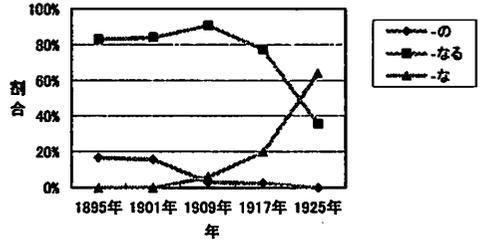
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	5	45%	6	55%	0	0%	11	100%
1901年	10	16%	50	79%	3	5%	63	100%
1909年	2	4%	43	91%	2	4%	47	100%
1917年	0	0%	33	94%	2	6%	35	100%
1925年	1	3%	23	64%	13	36%	36	100%



27016 顕著

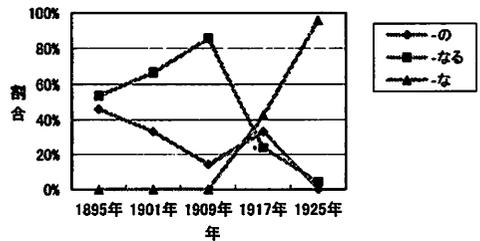
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	17%	10	83%	0	0%	12	100%
1901年	3	16%	16	84%	0	0%	19	100%
1909年	1	3%	30	91%	2	6%	33	100%
1917年	1	3%	31	78%	8	20%	40	100%
1925年	0	0%	5	36%	9	64%	14	100%

※この他、「顕著たる」2例あり(1901年、1909年)。



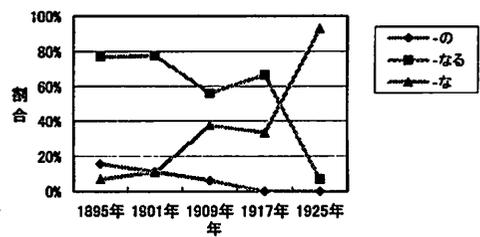
27569 高価

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	46%	7	54%	0	0%	13	100%
1901年	9	33%	18	67%	0	0%	27	100%
1909年	1	14%	6	86%	0	0%	7	100%
1917年	7	33%	5	24%	9	43%	21	100%
1925年	0	0%	1	4%	23	96%	24	100%



28206 高尚

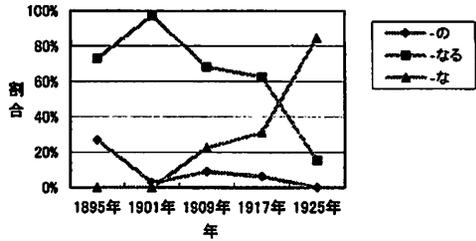
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	9	16%	44	77%	4	7%	57	100%
1901年	3	11%	21	78%	3	11%	27	100%
1909年	2	6%	18	56%	12	38%	32	100%
1917年	0	0%	6	67%	3	33%	9	100%
1925年	0	0%	1	7%	13	93%	14	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

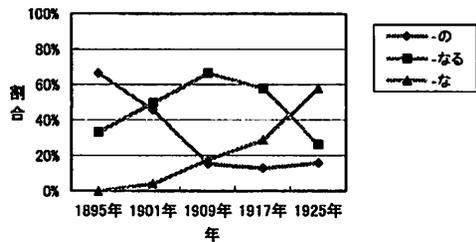
28503 廣大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	7	27%	19	73%	0	0%	26	100%
1901年	1	3%	35	97%	0	0%	36	100%
1909年	2	9%	15	68%	5	23%	22	100%
1917年	1	6%	10	63%	5	31%	16	100%
1925年	0	0%	2	15%	11	85%	13	100%



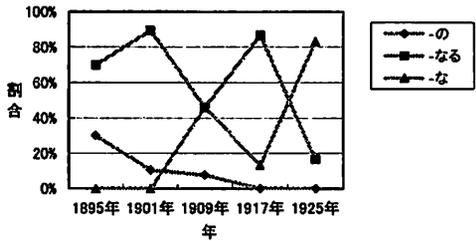
28939 公平

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	67%	6	33%	0	0%	18	100%
1901年	11	46%	12	50%	1	4%	24	100%
1909年	7	16%	30	67%	8	18%	45	100%
1917年	4	13%	18	58%	9	29%	31	100%
1925年	3	16%	5	26%	11	58%	19	100%



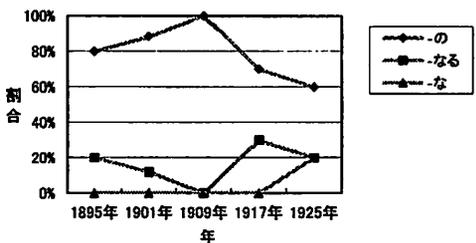
29002 巧妙

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	3	30%	7	70%	0	0%	10	100%
1901年	2	11%	17	89%	0	0%	19	100%
1909年	2	8%	12	46%	12	46%	26	100%
1917年	0	0%	13	87%	2	13%	15	100%
1925年	0	0%	3	17%	15	83%	18	100%



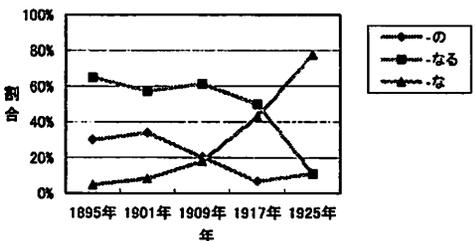
31404 固有

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	24	80%	6	20%	0	0%	30	100%
1901年	15	88%	2	12%	0	0%	17	100%
1909年	12	100%	0	0%	0	0%	12	100%
1917年	7	70%	3	30%	0	0%	10	100%
1925年	6	60%	2	20%	2	20%	10	100%



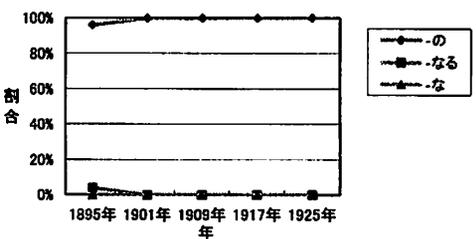
31908 困難

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	30%	13	65%	1	5%	20	100%
1901年	16	34%	27	57%	4	9%	47	100%
1909年	9	20%	27	61%	8	18%	44	100%
1917年	4	7%	29	50%	25	43%	58	100%
1925年	3	11%	3	11%	21	78%	27	100%



32186 最近

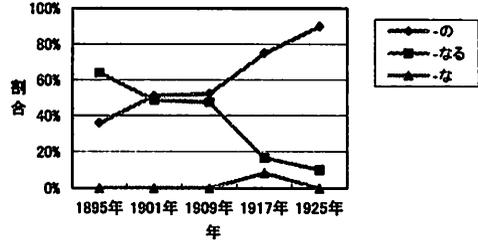
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	24	96%	1	4%	0	0%	25	100%
1901年	47	100%	0	0%	0	0%	47	100%
1909年	70	100%	0	0%	0	0%	70	100%
1917年	49	100%	0	0%	0	0%	49	100%
1925年	75	100%	0	0%	0	0%	75	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

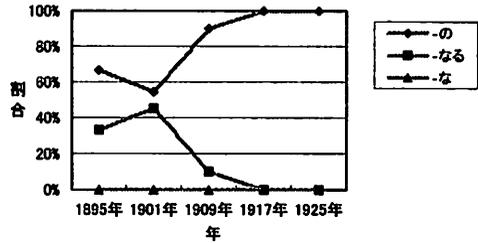
32463 最大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	9	36%	16	64%	0	0%	25	100%
1901年	20	51%	19	49%	0	0%	39	100%
1909年	11	52%	10	48%	0	0%	21	100%
1917年	9	75%	2	17%	1	8%	12	100%
1925年	18	90%	2	10%	0	0%	20	100%



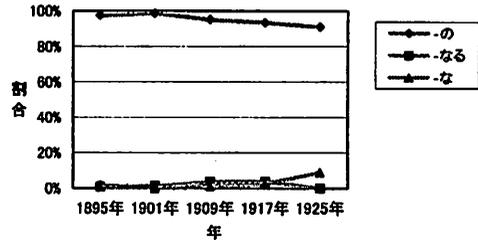
32692 最良

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	67%	3	33%	0	0%	9	100%
1901年	12	55%	10	45%	0	0%	22	100%
1909年	18	90%	2	10%	0	0%	20	100%
1917年	16	100%	0	0%	0	0%	16	100%
1925年	6	100%	0	0%	0	0%	6	100%



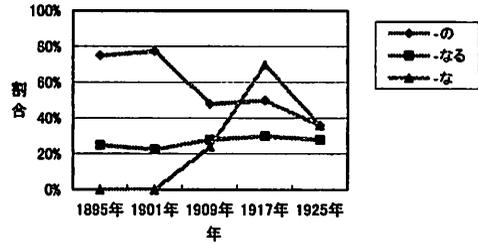
36209 自然

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	117	98%	1	1%	2	2%	120	100%
1901年	160	99%	2	1%	0	0%	162	100%
1909年	79	95%	3	4%	1	1%	83	100%
1917年	72	94%	3	4%	2	3%	77	100%
1925年	41	91%	0	0%	4	9%	45	100%



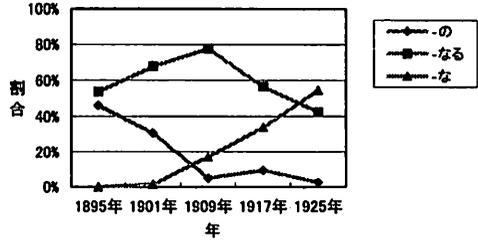
38559 自由

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	27	75%	9	25%	0	0%	36	100%
1901年	24	77%	7	23%	0	0%	31	100%
1909年	12	48%	7	28%	6	24%	25	100%
1917年	15	50%	9	30%	21	70%	30	100%
1925年	9	36%	7	28%	9	36%	25	100%



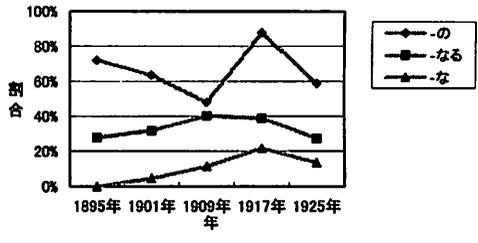
39046 重大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	46%	14	54%	0	0%	26	100%
1901年	23	31%	51	68%	1	1%	75	100%
1909年	4	5%	63	78%	14	17%	81	100%
1917年	12	9%	73	57%	44	34%	129	100%
1925年	3	3%	50	43%	64	55%	117	100%



39243 十分

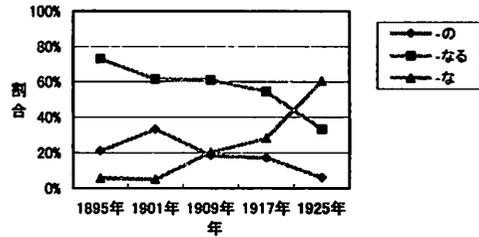
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	31	72%	12	28%	0	0%	43	100%
1901年	54	64%	27	32%	4	5%	85	100%
1909年	25	48%	21	40%	6	12%	52	100%
1917年	36	88%	16	39%	9	22%	41	100%
1925年	30	59%	14	27%	7	14%	51	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

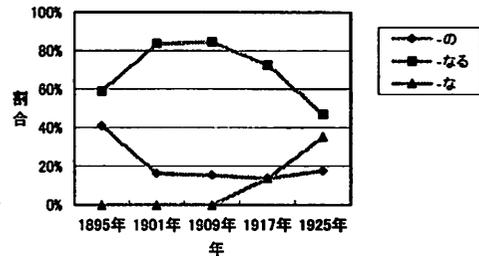
39320 重要

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	11	21%	38	73%	3	6%	52	100%
1901年	26	33%	48	62%	4	5%	78	100%
1909年	21	19%	69	61%	23	20%	113	100%
1917年	17	17%	54	55%	28	28%	99	100%
1925年	5	6%	28	33%	51	61%	84	100%



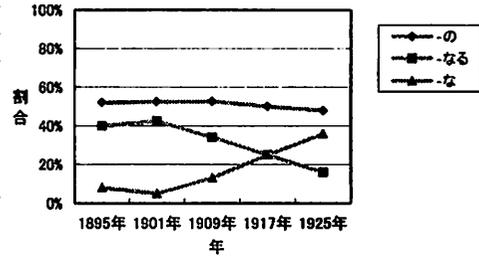
40252 主要

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	9	41%	13	59%	0	0%	22	100%
1901年	7	16%	36	84%	0	0%	43	100%
1909年	2	15%	11	85%	0	0%	13	100%
1917年	3	14%	16	73%	3	14%	22	100%
1925年	3	18%	8	47%	6	35%	17	100%



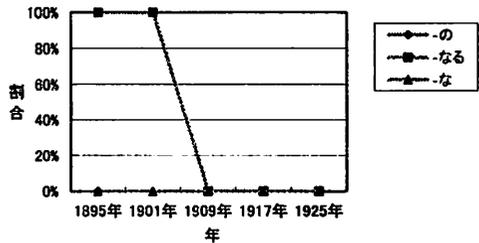
40486 純粋

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	13	52%	10	40%	2	8%	25	100%
1901年	21	53%	17	43%	2	5%	40	100%
1909年	20	53%	13	34%	5	13%	38	100%
1917年	6	50%	3	25%	3	25%	12	100%
1925年	12	48%	4	16%	9	36%	25	100%



40510 純然

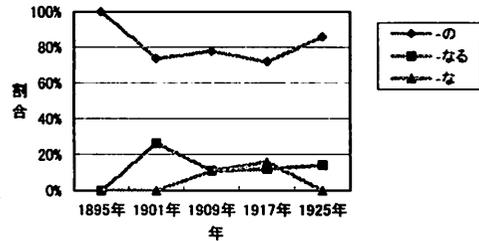
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	0	0%	1	100%	0	0%	1	100%
1901年	0	0%	2	100%	0	0%	2	100%
1909年	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
1917年	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
1925年	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%



※大多数が、「純然たる」の例。

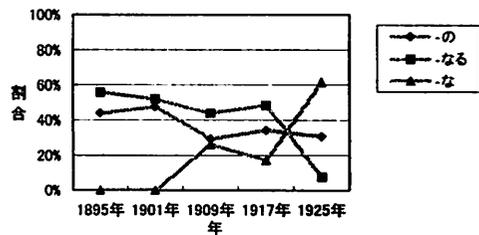
43582 真実

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	100%	0	0%	0	0%	12	100%
1901年	14	74%	5	26%	0	0%	19	100%
1909年	7	78%	1	11%	1	11%	9	100%
1917年	18	72%	3	12%	4	16%	25	100%
1925年	6	86%	1	14%	0	0%	7	100%



46977 正当

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	11	44%	14	56%	0	0%	25	100%
1901年	22	48%	24	52%	0	0%	46	100%
1909年	10	29%	15	44%	9	26%	34	100%
1917年	12	34%	17	49%	6	17%	35	100%
1925年	4	31%	1	8%	8	62%	13	100%

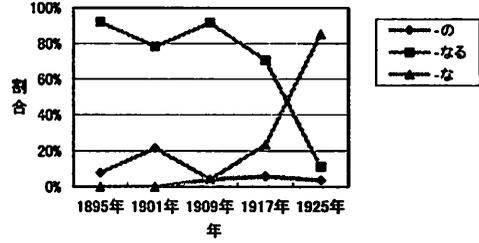


【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

49344 善良

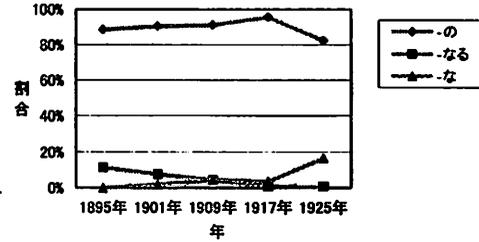
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	8%	23	92%	0	0%	25	100%
1901年	8	22%	29	78%	0	0%	37	100%
1909年	1	4%	22	92%	1	4%	24	100%
1917年	1	6%	12	71%	4	24%	17	100%
1925年	1	4%	3	11%	23	85%	27	100%

※この他、「善良たる」例あり(1909年)。



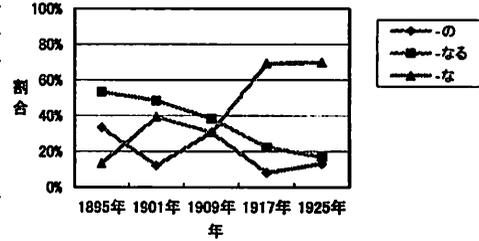
50063 相当

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	47	89%	6	11%	0	0%	53	100%
1901年	95	90%	8	8%	2	2%	105	100%
1909年	82	91%	4	4%	4	4%	90	100%
1917年	131	96%	1	1%	5	4%	137	100%
1925年	89	82%	1	1%	18	17%	108	100%



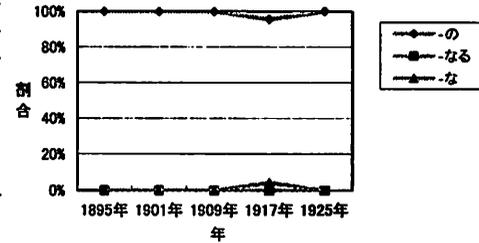
52178 大切

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	10	33%	16	53%	4	13%	30	100%
1901年	4	12%	16	48%	13	39%	33	100%
1909年	12	31%	15	38%	12	31%	39	100%
1917年	4	8%	11	22%	34	69%	49	100%
1925年	7	13%	9	17%	37	70%	53	100%



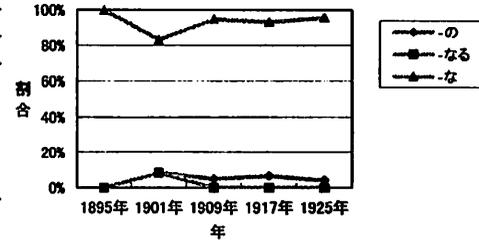
52215 大体

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	22	100%	0	0%	0	0%	22	100%
1901年	28	100%	0	0%	0	0%	28	100%
1909年	30	100%	0	0%	0	0%	30	100%
1917年	22	96%	0	0%	1	4%	23	100%
1925年	23	100%	0	0%	0	0%	23	100%



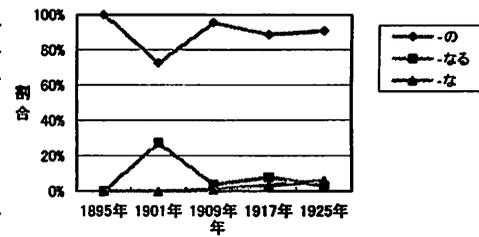
52471 大変

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	0	0%	0	0%	6	100%	6	100%
1901年	1	8%	1	8%	10	83%	12	100%
1909年	1	5%	0	0%	19	95%	20	100%
1917年	1	7%	0	0%	14	93%	15	100%
1925年	1	4%	0	0%	23	96%	24	100%



53333 多大

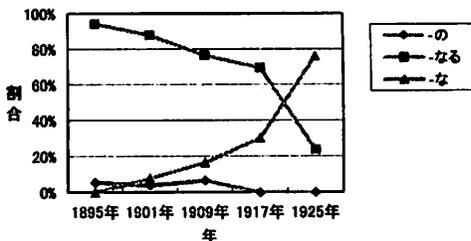
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	4	100%	0	0%	0	0%	4	100%
1901年	24	73%	9	27%	0	0%	33	100%
1909年	105	95%	4	4%	1	1%	110	100%
1917年	79	89%	7	8%	3	3%	89	100%
1925年	30	91%	1	3%	2	6%	33	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

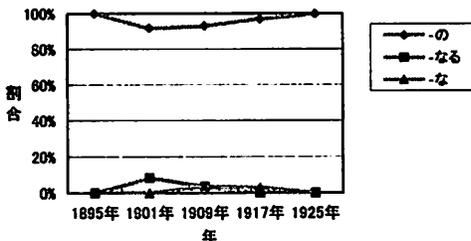
54787 単純

年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	1	6%	17	94%	0	0%	18:100%
1901年	1	4%	22	88%	2	8%	25:100%
1909年	2	7%	23	77%	5	17%	30:100%
1917年	0	0%	16	70%	7	30%	23:100%
1925年	0	0%	5	24%	16	76%	21:100%



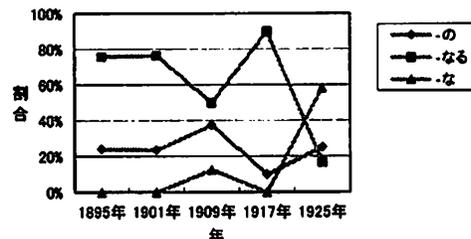
57059 直接

年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	34	100%	0	0%	0	0%	34:100%
1901年	22	92%	2	8%	0	0%	24:100%
1909年	27	93%	1	3%	1	3%	29:100%
1917年	32	97%	0	0%	1	3%	33:100%
1925年	18	100%	0	0%	0	0%	18:100%



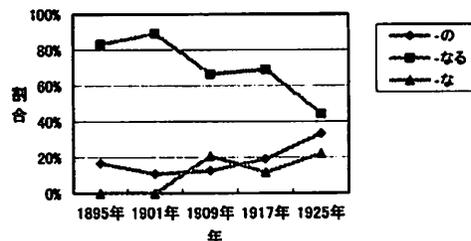
57226 著名

年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	7	24%	22	76%	0	0%	29:100%
1901年	4	24%	13	76%	0	0%	17:100%
1909年	3	38%	4	50%	1	13%	8:100%
1917年	1	10%	9	90%	0	0%	10:100%
1925年	3	25%	2	17%	7	58%	12:100%



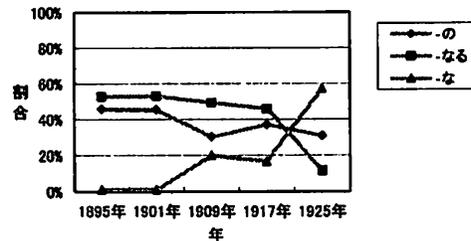
59730 適切

年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	1	17%	5	83%	0	0%	6:100%
1901年	3	11%	25	89%	0	0%	28:100%
1909年	3	13%	16	67%	5	21%	24:100%
1917年	5	19%	18	69%	3	12%	26:100%
1925年	3	33%	4	44%	2	22%	9:100%



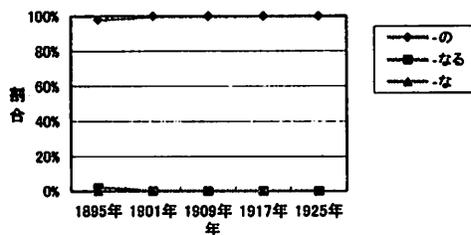
59760 適当

年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	38	46%	44	53%	1	1%	83:100%
1901年	70	45%	82	53%	2	1%	154:100%
1909年	33	30%	54	50%	22	20%	109:100%
1917年	42	37%	52	46%	19	17%	113:100%
1925年	21	31%	8	12%	39	57%	68:100%



61244 天然

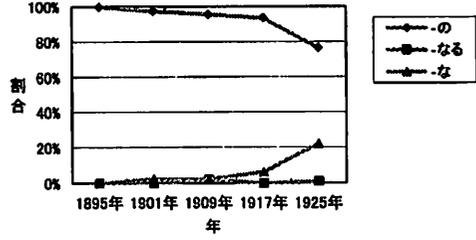
年	-の		-なる		-な		合計
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	
1895年	48	98%	1	2%	0	0%	49:100%
1901年	41	100%	0	0%	0	0%	41:100%
1909年	32	100%	0	0%	0	0%	32:100%
1917年	14	100%	0	0%	0	0%	14:100%
1925年	9	100%	0	0%	0	0%	9:100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

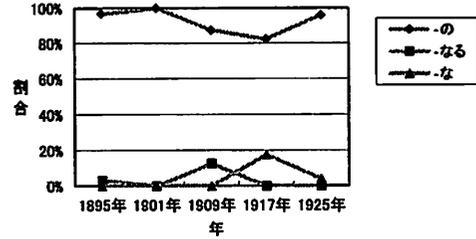
62117 当然

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	36	100%	0	0%	0	0%	36	100%
1901年	79	98%	0	0%	2	2%	81	100%
1909年	89	96%	2	2%	2	2%	93	100%
1917年	73	94%	0	0%	5	6%	78	100%
1925年	72	77%	1	1%	21	22%	94	100%



62946 得意

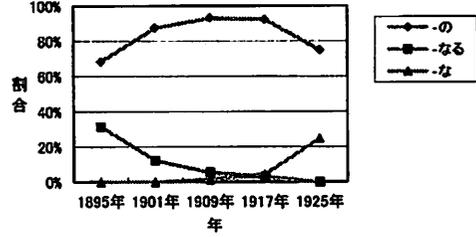
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	31	97%	1	3%	0	0%	32	100%
1901年	16	100%	0	0%	0	0%	16	100%
1909年	14	88%	2	13%	0	0%	16	100%
1917年	14	82%	0	0%	3	18%	17	100%
1925年	24	96%	0	0%	1	4%	25	100%



※この他、「得意たる」1例あり(1901年)。

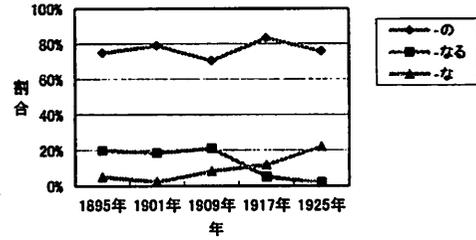
63038 特殊

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	26	68%	12	32%	0	0%	38	100%
1901年	57	88%	8	12%	0	0%	65	100%
1909年	69	93%	4	5%	1	1%	74	100%
1917年	62	93%	2	3%	3	4%	67	100%
1925年	54	75%	0	0%	18	25%	72	100%



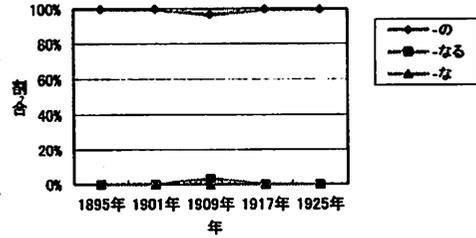
63228 特別

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	45	75%	12	20%	3	5%	60	100%
1901年	68	79%	16	19%	2	2%	86	100%
1909年	60	71%	18	21%	7	8%	85	100%
1917年	50	83%	3	5%	7	12%	60	100%
1925年	41	76%	1	2%	12	22%	54	100%



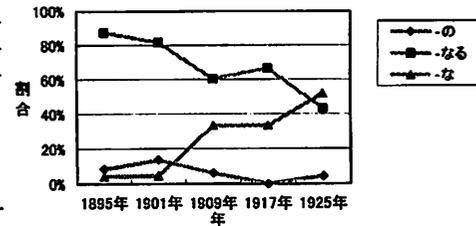
63268 独立

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	31	100%	0	0%	0	0%	31	100%
1901年	53	100%	0	0%	0	0%	53	100%
1909年	30	97%	1	3%	0	0%	31	100%
1917年	30	100%	0	0%	0	0%	30	100%
1925年	10	100%	0	0%	0	0%	10	100%



68186 熱心

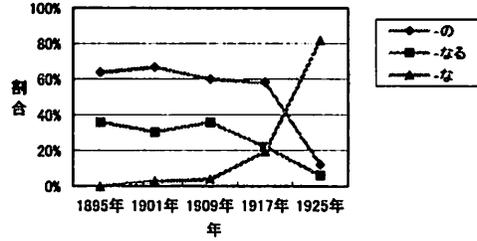
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	8%	21	88%	1	4%	24	100%
1901年	3	14%	18	82%	1	5%	22	100%
1909年	2	6%	20	61%	11	33%	33	100%
1917年	0	0%	14	67%	7	33%	21	100%
1925年	1	4%	10	43%	12	52%	23	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

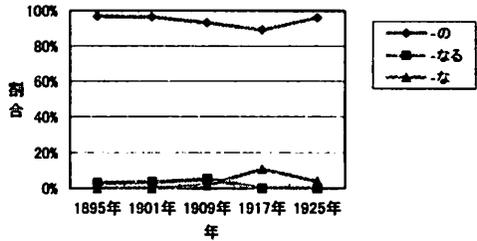
70415 莫大

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	23	64%	13	36%	0	0%	36	100%
1901年	24	67%	11	31%	1	3%	36	100%
1909年	15	60%	9	36%	1	4%	25	100%
1917年	21	58%	8	22%	7	19%	36	100%
1925年	4	12%	2	6%	27	82%	33	100%



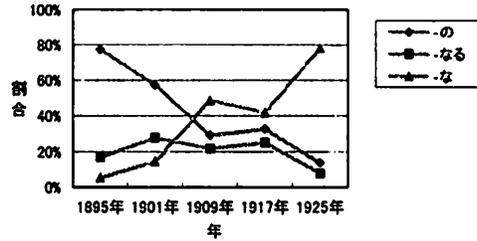
73085 反対

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	32	97%	1	3%	0	0%	33	100%
1901年	55	96%	2	4%	0	0%	57	100%
1909年	54	93%	3	5%	1	2%	58	100%
1917年	41	89%	0	0%	5	11%	46	100%
1925年	25	96%	0	0%	1	4%	26	100%



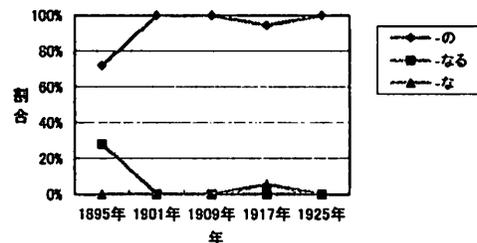
74244 非常

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	127	77%	28	17%	9	5%	164	100%
1901年	133	57%	65	28%	34	15%	232	100%
1909年	72	29%	54	22%	120	49%	246	100%
1917年	79	33%	61	25%	101	42%	241	100%
1925年	19	14%	11	8%	107	78%	137	100%



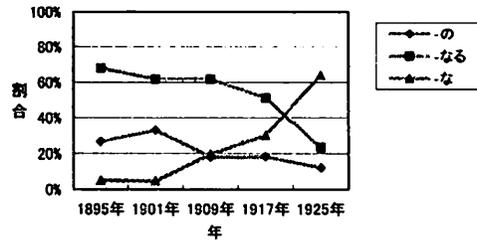
74632 必然

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	18	72%	7	28%	0	0%	25	100%
1901年	20	100%	0	0%	0	0%	20	100%
1909年	35	100%	0	0%	0	0%	35	100%
1917年	17	94%	0	0%	1	6%	18	100%
1925年	7	100%	0	0%	0	0%	7	100%



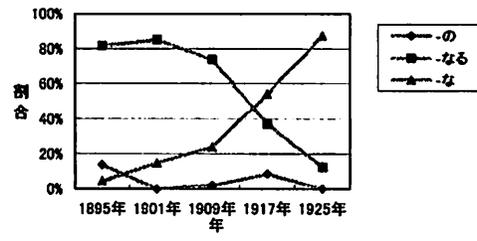
74738 必要

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	36	27%	92	68%	7	5%	135	100%
1901年	61	33%	114	62%	9	5%	184	100%
1909年	23	18%	78	62%	25	20%	126	100%
1917年	28	18%	78	51%	46	30%	152	100%
1925年	10	12%	19	23%	52	64%	81	100%



77173 複雑

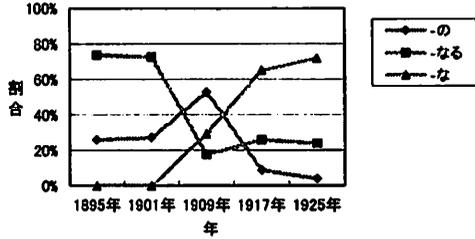
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	3	14%	18	82%	1	5%	22	100%
1901年	0	0%	23	85%	4	15%	27	100%
1909年	1	2%	37	74%	12	24%	50	100%
1917年	3	9%	13	37%	19	54%	35	100%
1925年	0	0%	4	13%	28	88%	32	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

77456 不幸

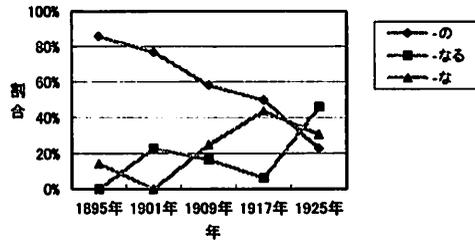
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	26%	17	74%	0	0%	23	100%
1901年	6	27%	16	73%	0	0%	22	100%
1909年	9	53%	3	18%	5	29%	17	100%
1917年	2	9%	6	26%	15	65%	23	100%
1925年	1	4%	6	24%	18	72%	25	100%



77724 不正

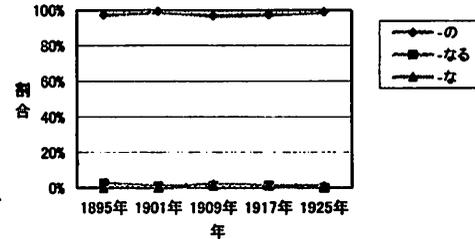
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	86%	0	0%	1	14%	7	100%
1901年	20	77%	6	23%	0	0%	26	100%
1909年	7	58%	2	17%	3	25%	12	100%
1917年	8	50%	1	6%	7	44%	16	100%
1925年	3	23%	6	46%	4	31%	13	100%

※この他、「不正たる」1例あり(1917年)。



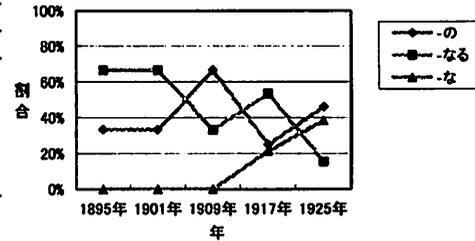
77962 普通

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	77	97%	2	3%	0	0%	79	100%
1901年	134	99%	1	1%	0	0%	135	100%
1909年	95	97%	1	1%	2	2%	98	100%
1917年	83	98%	1	1%	1	1%	85	100%
1925年	111	99%	0	0%	1	1%	112	100%



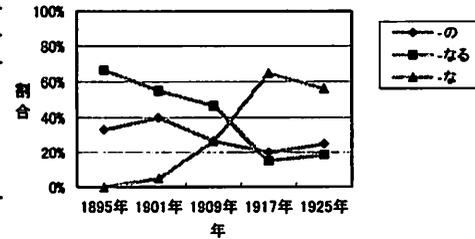
78877 不利

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	33%	4	67%	0	0%	6	100%
1901年	6	33%	12	67%	0	0%	18	100%
1909年	8	67%	4	33%	0	0%	12	100%
1917年	7	25%	15	54%	6	21%	28	100%
1925年	6	46%	2	15%	5	38%	13	100%



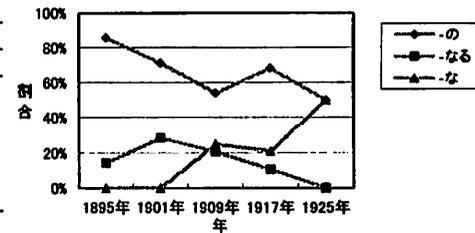
80162 平凡

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	1	33%	2	67%	0	0%	3	100%
1901年	8	40%	11	55%	1	5%	20	100%
1909年	4	27%	7	47%	4	27%	15	100%
1917年	4	20%	3	15%	13	65%	20	100%
1925年	4	25%	3	19%	9	56%	16	100%



80200 平和

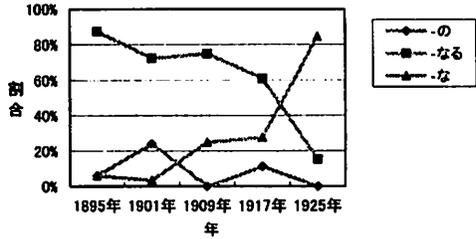
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	18	86%	3	14%	0	0%	21	100%
1901年	20	71%	8	29%	0	0%	28	100%
1909年	13	54%	5	21%	6	25%	24	100%
1917年	13	68%	2	11%	4	21%	19	100%
1925年	5	50%	0	0%	5	50%	10	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

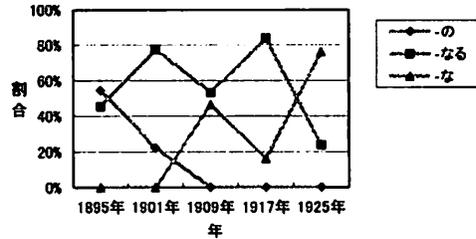
81075 便利

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	1	6%	14	88%	1	6%	16	100%
1901年	7	24%	21	72%	1	3%	29	100%
1909年	0	0%	9	75%	3	25%	12	100%
1917年	2	11%	11	61%	5	28%	18	100%
1925年	0	0%	2	15%	11	85%	13	100%



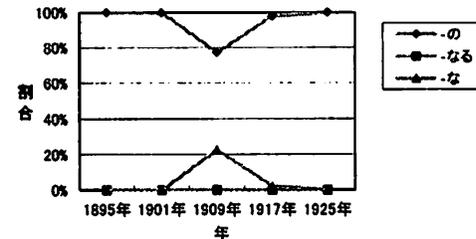
81892 豊富

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	55%	5	45%	0	0%	11	100%
1901年	2	22%	7	78%	0	0%	9	100%
1909年	0	0%	8	53%	7	47%	15	100%
1917年	0	0%	26	84%	5	16%	31	100%
1925年	0	0%	5	24%	16	76%	21	100%



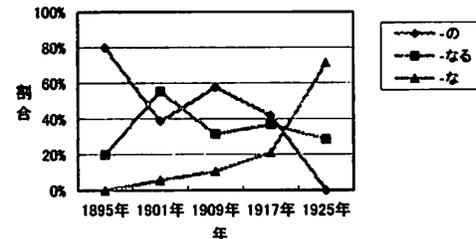
83438 本当

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	3	100%	0	0%	0	0%	3	100%
1901年	15	100%	0	0%	0	0%	15	100%
1909年	17	77%	0	0%	5	23%	22	100%
1917年	48	98%	0	0%	1	2%	49	100%
1925年	45	100%	0	0%	0	0%	45	100%



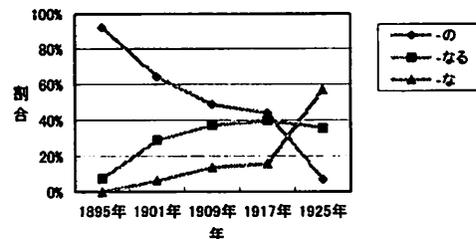
85026 満足

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	80%	3	20%	0	0%	15	100%
1901年	7	39%	10	56%	1	6%	18	100%
1909年	11	58%	6	32%	2	11%	19	100%
1917年	8	42%	7	37%	4	21%	19	100%
1925年	0	0%	2	29%	5	71%	7	100%



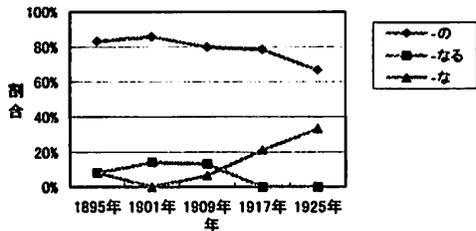
85911 密接

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	12	92%	1	8%	0	0%	13	100%
1901年	20	65%	9	29%	2	6%	31	100%
1909年	21	49%	16	37%	6	14%	43	100%
1917年	11	44%	10	40%	4	16%	25	100%
1925年	2	7%	10	36%	16	57%	28	100%



86632 無益

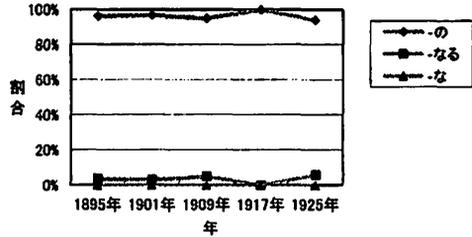
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	20	83%	2	8%	2	8%	24	100%
1901年	18	86%	3	14%	0	0%	21	100%
1909年	12	80%	2	13%	1	7%	15	100%
1917年	11	79%	0	0%	3	21%	14	100%
1925年	2	67%	0	0%	1	33%	3	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

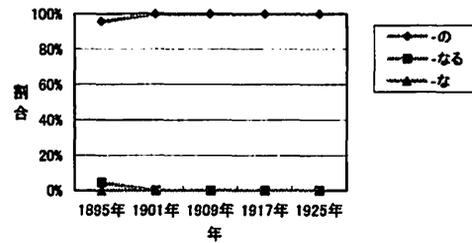
86821 無限

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	26	96%	1	4%	0	0%	27	100%
1901年	31	97%	1	3%	0	0%	32	100%
1909年	19	95%	1	5%	0	0%	20	100%
1917年	15	100%	0	0%	0	0%	15	100%
1925年	16	94%	1	6%	0	0%	17	100%



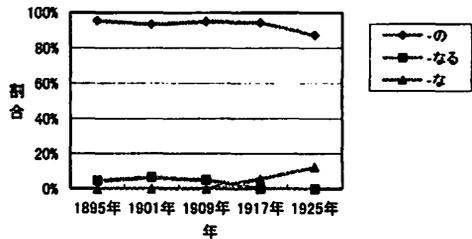
87026 無数

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	43	96%	2	4%	0	0%	45	100%
1901年	32	100%	0	0%	0	0%	32	100%
1909年	31	100%	0	0%	0	0%	31	100%
1917年	36	100%	0	0%	0	0%	36	100%
1925年	10	100%	0	0%	0	0%	10	100%



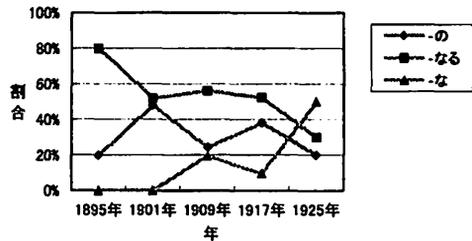
87363 無用

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	21	95%	1	5%	0	0%	22	100%
1901年	43	93%	3	7%	0	0%	46	100%
1909年	38	95%	2	5%	0	0%	40	100%
1917年	34	94%	0	0%	2	6%	36	100%
1925年	7	88%	0	0%	1	13%	8	100%



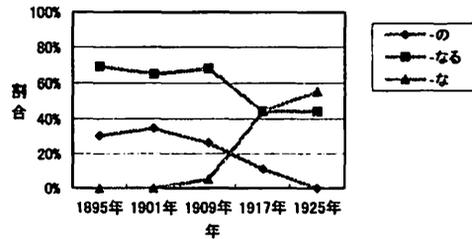
87645 明白

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	20%	8	80%	0	0%	10	100%
1901年	12	48%	13	52%	0	0%	25	100%
1909年	10	24%	23	56%	8	20%	41	100%
1917年	8	38%	11	52%	2	10%	21	100%
1925年	2	20%	3	30%	5	50%	10	100%



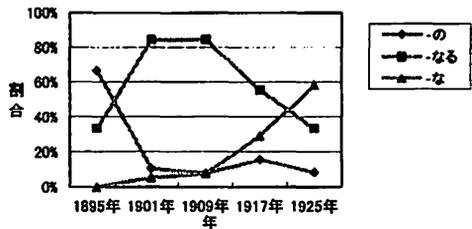
90621 有益

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	18	31%	41	69%	0	0%	59	100%
1901年	17	35%	32	65%	0	0%	49	100%
1909年	5	26%	13	68%	1	5%	19	100%
1917年	2	11%	8	44%	8	44%	18	100%
1925年	0	0%	4	44%	5	56%	9	100%



90751 有効

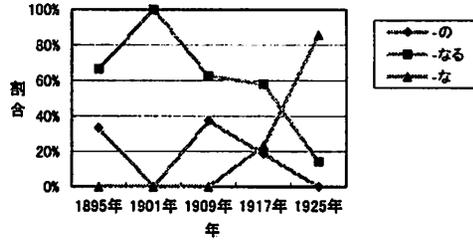
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	4	67%	2	33%	0	0%	6	100%
1901年	2	11%	16	84%	1	5%	19	100%
1909年	1	8%	11	85%	1	8%	13	100%
1917年	7	16%	25	56%	13	29%	45	100%
1925年	1	8%	4	33%	7	58%	12	100%



【付図】『太陽コーパス』における連体修飾用法の年代推移

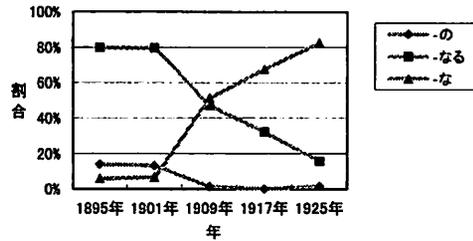
90804 優秀

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	1	33%	2	67%	0	0%	3	100%
1901年	0	0%	2	100%	0	0%	2	100%
1909年	6	38%	10	63%	0	0%	16	100%
1917年	8	19%	25	58%	10	23%	43	100%
1925年	0	0%	4	14%	24	86%	28	100%



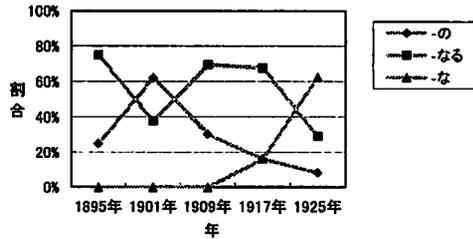
91015 有名

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	19	14%	108	80%	8	6%	135	100%
1901年	14	13%	83	80%	7	7%	104	100%
1909年	2	1%	67	47%	73	51%	142	100%
1917年	0	0%	22	32%	46	68%	68	100%
1925年	2	2%	20	16%	104	83%	126	100%



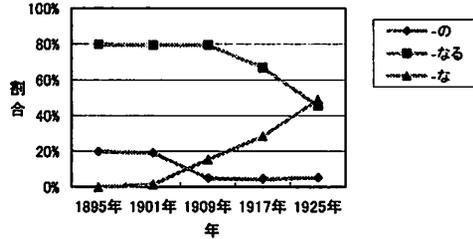
91059 有利

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	1	25%	3	75%	0	0%	4	100%
1901年	18	62%	11	38%	0	0%	29	100%
1909年	7	30%	16	70%	0	0%	23	100%
1917年	9	16%	38	68%	9	16%	56	100%
1925年	2	8%	7	29%	15	63%	24	100%



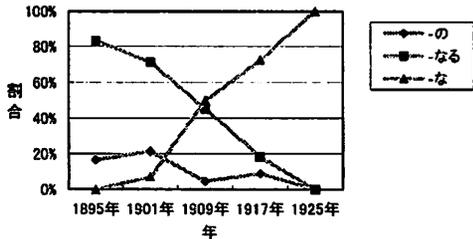
91075 有力

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	6	20%	24	80%	0	0%	30	100%
1901年	14	19%	58	79%	1	1%	73	100%
1909年	5	5%	82	80%	16	16%	103	100%
1917年	4	4%	61	67%	26	29%	91	100%
1925年	3	5%	26	46%	28	49%	57	100%



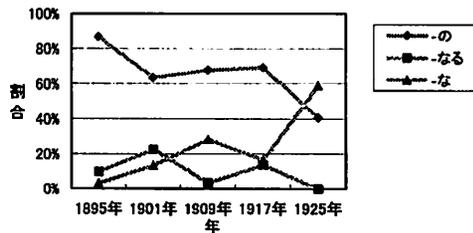
91110 愉快

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	3	17%	15	83%	0	0%	18	100%
1901年	3	21%	10	71%	1	7%	14	100%
1909年	1	5%	10	45%	11	50%	22	100%
1917年	1	9%	2	18%	8	73%	11	100%
1925年	0	0%	0	0%	13	100%	13	100%



91639 容易

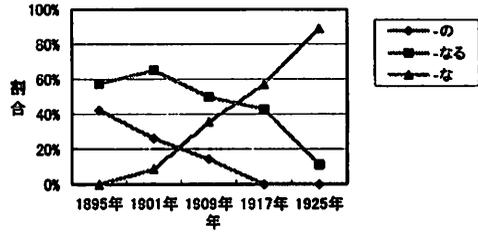
年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	26	87%	3	10%	1	3%	30	100%
1901年	28	64%	10	23%	6	14%	44	100%
1909年	19	68%	1	4%	8	29%	28	100%
1917年	25	69%	5	14%	6	17%	36	100%
1925年	9	41%	0	0%	13	59%	22	100%



【付図】『太陽コーバス』における連体修飾用法の年代推移

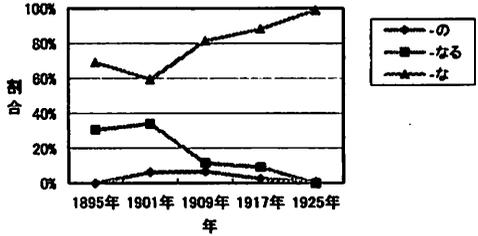
91894 幼稚

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	14	42%	19	58%	0	0%	33	100%
1901年	6	26%	15	65%	2	9%	23	100%
1909年	4	14%	14	50%	10	36%	28	100%
1917年	0	0%	3	43%	4	57%	7	100%
1925年	0	0%	1	11%	8	89%	9	100%



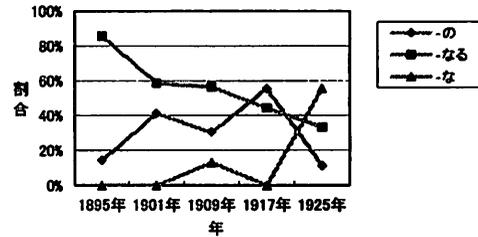
93945 立派

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	0	0%	12	31%	27	69%	39	100%
1901年	5	6%	27	34%	47	59%	79	100%
1909年	11	7%	19	12%	134	82%	164	100%
1917年	3	3%	11	9%	105	88%	119	100%
1925年	1	1%	0	0%	125	99%	126	100%



94381 良好

年	-の		-なる		-な		合計	
	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合	出現数	割合
1895年	2	14%	12	86%	0	0%	14	100%
1901年	14	41%	20	59%	0	0%	34	100%
1909年	7	30%	13	57%	3	13%	23	100%
1917年	5	56%	4	44%	0	0%	9	100%
1925年	1	11%	3	33%	5	56%	9	100%



※この他、「良好たる」1例あり(1901年)。